



# 森とおる NEWS

森とおる  
事務所発行

東京都豊島区上池袋3-46-2  
東京都豊島区南大塚1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-6-12 TEL 03(6912)0135

## ゲリラ豪雨対策に遅れが生じる

### 千川増強幹線工事の完了が2024年3月まで延びる



直径約4メートルのシールドマシン (下水道局提供写真)



工事を遅らせる原因となった大礫 (下水道局提供写真)

#### 都議団と現地調査

米倉春奈都議からの連絡で、東京都下水道局が上池袋から文京区にかけて行なっている、時間75ミリの降雨に対応する「千川増強幹線」工事に遅れが生じていることが判明しました。そこで、昨年12月21日、私は米倉都議と都議団他2名、文京区議団2名、南大塚在住の方、合計7名で、工事の起点となっている上池袋東公園において、下水道局担当者から状況を確認してきました。

すでにこの地域には雨水を収容する「千川幹線」と「第二千川幹線」という2本の貯留管が設置されていますが、2013年に発生したゲリラ豪雨に対応できず、大塚三業通り一帯に浸水被害が発生しました。同年、下水道局はこの地域を75ミリ対策地区に指定し、3本目の貯留管を設置することを決定。私は米倉都議と、被害に遭われた住民の方々と共に、早期に工事をすすめるように申し入れを行いました。

その後、2017年に工事が始まり、2019年にはシールドマシンによる掘削工事が行われ、当初の予定では2021年度には工事完了の予定でした。

#### 工事が遅れた原因は大礫(ダイレキ)

今回、下水道局からの説明で分かったことは、工事が遅れている原因は、地下に大量の大礫があり、シールドマシンの掘削に支障が出たために、大幅に遅れが生じてしまっているのとこのことでした。

#### 工事了りまでの対応策が必要

2013年のゲリラ豪雨以降、下水道局はこの工事の他にも、バイパス管を設置して雨水の流れを良くするなど対策を行なっています。同時に豊島区も雨水マスの増強といった対応をしています。しかし千川増強幹線工事が完了しなければ、75ミリに迫る、あるいはそれ以上の豪雨が発生した時に浸水被害が起きないとは言えません。

これからも米倉都議と連携して、早期の工事完成と合わせて、完成するまでに東京都としてできる限りの対応策を構築するように働きかけていきます。